

第4章 計画の推進体制、フォローアップ及び見直し

4-1 計画の推進体制について

本計画の推進にあたっては、道路管理者・交通管理者・関係行政機関・市民等が相互に連携し、各取組みを一体的に推進していくことが重要である。このため、必要に応じて各種施策の進捗等を行うための協議を関係機関と開催しながら計画を推進していく。

また、ルールへの遵守・マナーの向上は、地域住民・学生・NPO 団体等相互に協力することが重要であることから、山形市が中心となって、多様な主体の参画を促していくことで、より良い自転車利用環境の実現を目指していく。

各施策を実施する際には、施策間の連携を図り、効率的・効果的に施策を進めるものとする。

4-2 計画の推進に向けて

計画を推進していくにあたり、図のようなPDCA サイクルを目指していくものとする。

計画期間内に各取り組み内容を実行し、評価を行い、必要に応じた見直しを行う。また、法令や、関係する計画の動向に合わせて見直しを行う。



■計画推進のためのサイクル

4-3 目標指標の設定

本計画の進捗を確認するため、目標指標を以下のとおり設定する。

継続的に目標指標の評価を行い、必要に応じて取組の見直しを行う。

(1) 目標指標

No	目標指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和9年度)
①	山形市交通安全計画の推進	—	—
②	自転車ネットワーク路線のうち、整備に着手した路線数 (累計)	—	47路線
③	シェアサイクルポート設置数(レンタサイクル貸出ステーション含む) (累計)	6か所	20か所
④	サイクリング拠点の整備数 (累計)	—	4か所
⑤	サイクリングモデルコース(※)の設定数 (累計)	—	4コース
⑥	山形市健康ポイント事業SUKSK(スクスク)参加者のうち、サイクリングモデルコースを利用した人数 (累計)	—	(コース設定後に設定)

※サイクリングモデルコース: 安全性や快適性を考慮した、山形市が設定または推奨するサイクリングコース

(2) 各取組内容と目標指標の関連性

目標	施策	取組内容	目標指標					
			①	②	③	④	⑤	⑥
			山形市 交通安全 計画の推進	ネットワーク 路線のうち、 整備に着手 した路線数	シェア サイクル ポート 設置数	サイクリング 拠点の 整備数	サイクリング モデルコース の設定数	サイクリング モデルコース を利用した 人数
【目標1】 自転車事故のない 安全で安心な 社会の実現	施策1 交通ルール・マナー の啓発	①交通安全意識の向上を図る広報 啓発	○					
		②交通安全情報の発信	○					
		③通学路周辺の安全点検等の実施	○					
		④自転車損害賠償責任保険等への 保険加入促進	○					
		⑤アフターコロナにおける サイクリングの推進						○
【目標2】 自転車を活用したライフ スタイルの推進	施策2 自転車の利用促進	①健康増進に資する自転車利用の 広報啓発						○
		②自転車関連イベントの開催						○
		③自転車通勤の推進						○
	施策3 自転車移動の定着	①SUZUKIアプリとの連携						○
		②自転車レンタルサービスの充実				○		○
		③シェアサイクルの導入推進				○		○
【目標3】 自転車を利用しやすい走行空間の整備推進	施策4 自転車利用環境の 整備	①安全な自転車通行空間の整備・ 維持		○				
		②快適な自転車通行環境の整備・ 維持				○		○
		③ウォーカブルなまちづくりの推進		○				○
		④無電柱化による自転車通行空間 整備						○
		⑤自転車と公共交通との接続性の 向上		○	○		○	○
		⑥地域のニーズに応じた駐輪場の 整備			○			
		⑦放置自転車対策		○	○			
		⑧サイクリング拠点の整備				○		○
【目標4】 多様なニーズに対応 したサイクリングモデル コースの充実	施策5 多彩なサイクリングモデル コースの設定及び利用促進	①サイクリングモデルコースの設定・ 充実		○		○	○	○
		②サイクリングマップ等の作成		○				○
		③店舗・コンビニ等と連携した受入 サービスの充実		○				○
		④サイクリスト向け体験型・滞在型の コンテンツの推進		○				○